



自立貢献

「面接練習の時期を迎えて」

校長 田口 克敏

人がとる「コミュニケーション」の手段として一般的に意識されているものは「言語」ですが、実は「非言語」のコミュニケーションも非常に多いと言われています。この「非言語コミュニケーション」は「ノンバーバルコミュニケーション (Non-Verbal Communication)」と呼ばれ、「言語」以外の「表情」「声」「行動」などの「情報」を用いたもので、人はこれらから相手の気持ちを「目で見て」「耳で聞いて」「体で感じて」推し量っていきます。ここに「メール」や「SNS」等における様々なトラブルが生じる背景があると考えます。もし、「メール」などの文字情報だけで「間違いなく」意思の疎通ができればそうしたトラブルの多くは回避できると思いますが、実は人間同士の意思疎通は「ノンバーバル＝非言語」もセットで行われるために、「単なる文字情報」でしかもサイズやフォントが「定型化」されたメール等では「思い違い」や「勘違い」が起きてしまいます。

1970年代にアメリカの心理学者であったアルバート・メラビアンが行った実験結果から「話し手」が「聞き手」に与える影響がどのような要素から構成されているかを解き明かした「メラビアンの法則」というものがあります。

それによると、人は①視覚情報(見た目、身だしなみ、表情(視線))などから55%、②聴覚情報(声の質、大きさ、速さ(テンポ))から38%、③言語情報(話す言葉そのものの意味)から7%の影響を受けるとされています。つまり相手に与える印象は「ノンバーバル＝非言語」からの部分が9割以上影響を受けている、ということになります。

このことから、自分の思いや意思を相手に伝えるには直接対面する方法が一番であり、それがかなわない場合は「電話」などの音声で伝える方法、直筆の手紙、最後にメール等ということになるのではないかと思います。

11月も中旬となり、本校では3年生対象の「校長面接」が、面接練習を兼ねて行われます。この際に取り上げられるポイントは、「身だしなみ、姿勢、入退室の仕方、表情、視線」などの「視覚情報」と「声の大きさ、明瞭性、気持ちの載せ方」などの「聴覚情報」について注目し、確認・指導することが多くあります。もちろん「志望動機」「進路先に期待すること」「将来をどう生きたいのか」などの「言語情報」も重要ですが、やはり「メラビアンの法則」どおり「ノンバーバルコミュニケーション」の影響は非常に大きくなります。またこの「ノンバーバルコミュニケーション」は普段の生活の中で形成されていく「癖」のようなものですから、一朝一夕には改善も難しいところです。そのため、日常の学校生活や家庭生活の中で、適切な習慣づけができるよう周囲の大人である教員・保護者が気を付けていくことも大切だと考えます。 希望の実現に向けて頑張れ、3年生！応援しています。

給食ローテーション

今日は誰先生ですか？先月から始まった給食ローテーション。十二日からは担任の先生だけではなく、学年の先生や他学年の先生方も、各クラスで給食を食べています。普段の授業では見られない姿が見られると、先生方も楽しみにしています。給食の準備は、どのクラスも早く終わります。そして、お代わりはクラスの特徴が出る？とか。給食調理さんが、おまけを入れてくださる時もあると、人気のメニューの時には、争奪戦が起きるクラスもあるようです。最近の一年生の悩みは、班での会話が活発になって、放送も聞こえないことがあることだそうです。それだけ、クラスの仲間との会話を楽しめることは良いことではありますね。でも、放送委員会や生徒会が企画したお昼の放送も楽しんでください。

さて、三年生の給食に、行ってきました。保健給食委員の指示のもと、セルフサービス方式で給食の配膳が行われていました。いただきますの合図で始めると同時に、受験のこと、高校のこと、試験勉強のこと…楽しみに会話弾みます。あの先生〇〇に似てるよね？なんて話や俺全然テスト勉強してない！と豪語する声もありました。いつもは静かな三年生ですが、普通の声じゃ聞こえない、というほど、元気にあふれ、それでいて規律ある給食で、楽しいひとときとなりました。

空生徒、全担任として、これからも様々な場面で生徒との関わりを大切にしていきます。



1年B組の給食に
校長先生がやって来た！

副校長

平沢富美江

震災復興を願って生まれた「いま」



学芸発表会 3年生全員合唱による「いま」

「いま」は東日本大震災が起きた平成23年度に創られた和田中学校オリジナルの合唱曲です。先月行われた学芸発表会では、「自分達の『いま』を胸を張って歌おう」と見事な学年合唱を3年生が発表しました。杉並公会堂に響いた歌声は、聴いた人の心まで揺さぶるものでした。1. 2年生からは「3年生やるなあって思った」「凄かった」「自分達が3年生になった時に、あそこまで歌えるのか不安」等々、圧倒されたという感想が多く上がりました。また、ご参観いただいた地域・保護者の皆さんからも、「感動しました」「心に響いてきました」「中学生の合唱のレベルの高さに驚いた」「3年生の学年合唱は素晴らしかった」等のお声とともに、「これからも『いま』という歌を歌い継いでほしい」というご意見が多くありました。

この合唱曲を創った当時の生徒は二十歳を超える年になりました。そこで、平成26年度に音楽教育雑誌「ヴァン」の26号に掲載された記事を紹介しします。

東日本大震災から間もない平成23年4月、杉並区立和田中学校では「自分たちができることを考え、実行していく」ことを目標に、学習やチャリティー活動が始まりました。音楽科教諭の稲先生(当時)は、学習の一環として全校生徒から震災について思うことや命について考えた内容の文章を集め、それらの言葉をもとに和田中のオリジナル合唱曲をつくってみたいというおもいに突き動かされ、それを実行に移しました。「生きていると思う瞬間は？」との問いに対する生徒たちの言葉を見つめ、集めて編んで完成させた詩は、この取組に賛同してくださった杉並区出身の作曲家、福田洋介さんの手に渡ります。そして、念願の混声合唱曲が誕生しました。

「どんなときも今を精一杯生きる、という生徒の気持ちが込められたこの歌は、第2の校歌というよりも、3年生になったら歌いたいと誰もが思う、あこがれの歌として親しまれるようになってほしい」と語る稲先生。学校長の末吉雄二先生(当時)は、「『いま』を初めて聴いたときの感動は忘れられません。音楽には人を勇気づける力があると思います。それから和やかにする力も」と合唱曲の誕生をたたえしました。…後略…

※作曲された福田先生は、今年度も3年生に授業を行って下さいました。

よのなか科では、地域の皆さんのご参加をお待ちしています！次回は1月11日(土)10時35分から。



11月 9日(土)よのなか科
1年生代表「モンテネグロ」紹介

総合的な学習の時間に行っている「よのなか科」、土曜授業では、ゲストをお招きして、様々な視点から世界をとらえる学習を行っています。次回は**1月11日(土)10:35**から「世界の水問題を自分事として考えてみよう」をテーマに認定NPO法人「ウォーターエイドジャパン」の杉山真里菜さんお招きします。グループワークを行う予定です。その際、保護者の皆さん、地域の皆さんにも、一緒に考えていただく場面を設定しています。是非、ご参加下さい。

また、同日、1年生は1・2時間目の進路学習の一環として「職業・働き方を知る」取組として、保護者の皆さん、地域の皆さんにインタビューを行いたいと考えています。社会人の方にお話を伺い、働くこと、生活すること、社会の一員となることと言う考えを深め、自分の未来について考え、また、未来から現在の自分の生活を見直す機会にもさせたいと考えています。そこで、ご協力いただける方を募集します。詳細は後日お知らせします。

新しく来られた先生を紹介します。



9月からALTをお願いしています。アメリカ出身のGavin Galloway先生です。



11月6日から体育科の講師として財田マーヴィン光紘先生がお見えになりました。

和田中の「食」を支える給食

給食室では生徒たちに毎日の給食を楽しみにしてもらえるよう、栄養士・調理員一同励んでいます。和田中学校の給食は、バラエティ豊富な献立が特長です。提供食数（生徒・職員）が250食程度とそれほど多くないので、「手作りパン」や「天むす」など、手の込んだ献立も実施することができます。

大切にしていることは、「安心・安全でおいしい給食」の提供です。調理員は、作業前に食中毒予防のための体調チェック（手に傷がないか、発熱や腹痛がないか等）を行い、調理白衣や帽子に

ごみや髪の毛等が付着していないか確認します。調理作業が始まると、届いた食材は新鮮か、虫やごみなどの異物が付着していないか、包丁等の調理器具に不具合がないか、加熱食材は必ず温度計で温度を確認する、…食材が届いてから教室に提供するまで、細部にわたり安全に配慮しています。また、料理は4時間目終わりに合わせて仕上げられるよう時間を逆算し、出来立てを提供することにもこだわっています。

今後も安心・安全でおいしい給食を提供していけるよう努力してまいります。



清水 由美 栄養士

給食室のモットーは？

安心・安全でおいしい給食

給食人気アンケート

保健給食委員会で「給食人気アンケート」を実施しました！生徒には、①ごはん・パン・めん、②おかず、③デザート、それぞれの候補の中から一番好きなものを選んでもらいました。それぞれの結果は表のとおりです。

| ごはん・パン・めん部門 | | | おかず部門 | | | デザート部門 | | |
|-------------|----------|-----|-------|---------|-----|--------|----------|------|
| 第1位 | きなこ揚げパン | 86票 | 第1位 | 鶏肉のから揚げ | 83票 | 第1位 | 白玉フルーツソフ | 108票 |
| 第2位 | みそラーメン | 60票 | 第2位 | 豚汁 | 36票 | 第2位 | 冷凍みかん | 40票 |
| 第3位 | キムチチャーハン | 34票 | 第3位 | ハンバーグ | 34票 | 第3位 | カフェオレゼリー | 24票 |

チーフに聞きました！

調理は(株)トウシヨクが担当しています。毎日美味しい給食を提供していただき、本当に感謝しています。調理員の中心となるチーフにインタビューをしました！

Q1 給食を作っていてうれしいことや、やりがいはどんなことですか？

A1 残菜が少なかった時に、美味しく提供できて良かったと思います。あと、みなさんから「ありがとうございます。」など声をかけていただいた時に温かい気持ちになります。

Q2 給食を作るうえで大変なことは何ですか？

A2 給食室内には冷暖房設備が無いので、夏は暑く、冬は寒いことと、異物混入や食中毒の発生を防止するための、目視確認や健康管理が欠かせないことです。

Q3 おすすめメニューを教えてください！

A1 全部おすすめですよ！！あえて挙げるなら、、、

①**コロッケ**…じゃがいもをじゃがいもを蒸してつぶすところから手作りしています。1つ1つに愛情込めて成形（コロッケの形に丸めること）しています♡

②**カレーやシチュー**…ルウから手作りしています。「美味しくな一れ♪」の気持ちで煮込んでいます。（チーフは本当に「美味しくな一れ♪」と言いながら作っています！）

③**スープ等の汁物**…さば節や鶏がらなど、天然のものからだしを取っているのが本当に美味しいです。温かい汁物はこれからの季節にうれしいです。



調理室の皆さん



カレーコロッケ(7月)



お月見団子汁(9月)



トマトシチュー(11月)

生徒が考え、実践していく和田中へ



生徒会朝礼では生活委員会が服装の着こなしを分かりやすく、劇やクイズでレクチャーしました。



杉並区連合文化祭
美術・技術・家庭科作品が展示されました。



杉並区サイエンス・グランプリ
1年生の自由研究を出品しました。



2年生の学年合同授業。これは何の授業でしょうか。皆んな真剣です。



校長先生との面接の前に、校長先生から3年生にお話がありました。



11月9日(土)の土曜授業では
プラス
2年生がP+検定を実施しました。

道徳地区公開講座のお知らせ

令和元年12月7日(土)の土曜授業は、道徳地区公開講座です。

内容項目は「よりよく生きる喜び」です。

道徳の教科書「新しい道徳」より

1学年は「銀色のシャープペンシル」

2学年は「本当の私」

3学年は「足袋の季節」

を教材に、担任による授業を行います。

公開授業の後に、本校の道徳教育についての協議会を行います。ご参加ください。

時程 8:45～ 9:35 公開授業

※1年生はPプラス検定を実施

9:45～10:35 道徳授業公開

10:45～11:35 公開授業

※協議会（視聴覚室）

協議会次第

- 1 校長挨拶
- 2 授業者より普段の道徳授業について
- 3 意見交換会
「心の弱さを乗り越えるためには」
- 4 道徳の評価について